

様式第5号（第6条関係）

令和8年4月8日

（宛先）湖西市議会議長

湖西市議会議員

氏名 福永 桂子

（署名又は記名押印）

政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和7年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000 円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費		
研修費	114,440	セミナー受講費・交通費
資料作成費		
資料購入費	11,880	しんぶん赤旗購読料
合計	126,320	

3 残額 0 円



支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 福永桂子

会 計 年 度	令和7年度		支 出 番 号	1	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		11,880	円		
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和7年 6月6日	調査研究費	赤旗浜松出張 所	11,880円	しんぶん赤旗日曜版購読 料として。(R7.4月～ R8.3月分)
支 出 目 的	政治や地方の議員活動を把握し、一般質問など議員活動における調査研究に役立てるためしんぶん赤旗日曜版を購読。				
備 考					

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

写

領 収 証

福永 祥子 様

No. 88

金額

11,880

内 訳

現 金

小切手 /

手 形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但「(2)赤旗」日曜放賜料

2025年4月~2026年3月

令和7年6月6日 上記正に領収いたしました

赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17

TEL (053) 474-2141

登録番号

収入印紙



GR1621

領 収 証

福永 祥子 様

No. 88

金額

11,880

内 訳

現 金

小切手 /

手 形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但「(2)赤旗」日曜放賜料

2025年4月~2026年3月

令和7年6月6日 上記正に領収いたしました

赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17

TEL (053) 474-2141

登録番号

収入印紙



GR1621

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 福永桂子

会 計 年 度	令和7年度	支 出 番 号	2		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		38,020	円		
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
1	令和7年 10月6日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	25,020円	別紙「旅費内訳書」のと おり。 指定席の代金は計 上せず。
2	令和7年 10月9日	会議参加費	第87回全国都 市問題会議実 行委員会	13,000円	参加費として。
支 出 目 的		「第87回全国都市問題会議」会議参加費、交通費として。			
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との
関連性を記入。

領収書-No 2
窓口-No 102

駅-No 1244

領 収 書

福永桂子 様

金額

¥25,020円

〔消費税等込み・10%〕

印 車券類として 鶴津心斎橋 往後

上記金額確かに領収致しました

2025年10月 6日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号：13180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷲澤駅

現金出納社員

会議参加費 領収書

福永桂子 様

金 13,000円

但、「第87回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和7年 10月 9日

第87回全国都市問題会議実行委員会
会長 佐藤 栄

写

領収書 No 2
窓口 No 102
駅 No 1244

領 収 書

福永桂子 様

金額

¥25,020円
[消費税等込・10%]

但し、乗車券類として
能率の字印を
有

上記金額確かに領収しました

ご利用いただきましてありがとうございます

2025年10月 6日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: 13180001031569

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

滝澤駅

現金出納社員



写

会議参加費 領収書

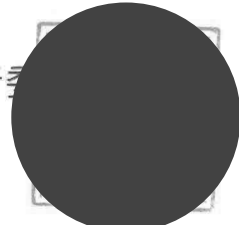
福永桂子 様

金 13,000円

但、「第87回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和7年 10月 9日

第87回全国都市問題会議実行委
会長 佐藤 栄



旅費内訳書

出張先： ライトキューブ宇都宮

出張日： 令和7年10月9日～10日

出張者： 福永 桂子

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	鷲津 ⇨ 宇都宮	386.1	6,600		
			宇都宮 ⇨ 鷲津	386.1	6,600		
			⇨				
			⇨				
	新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,400	自由席		
		東京 ⇨ 浜松	257.1	3,400	自由席		
		東京 ⇨ 宇都宮	109.5	2,510	自由席		
		宇都宮 ⇨ 東京	109.5	2,510	自由席		
			⇨				
			⇨				
小計					25,020		
代		⇨					
代		⇨					
小計					25,020 円		
日当	/		/		/		
宿泊料	1	泊	13,100 円		13,100	※計上しない	
		泊		円			
合計					38,120 円		
行程略図							
<往路> 鷲津 ⇨ 東海道本線 浜松 ⇨ 東海道新幹線 東京 ⇨ 東北新幹線 宇都宮 全国都市問題会議 ライトキューブ宇都宮 【宿泊】			<復路> 全国都市問題会議 ライトキューブ宇都宮 宇都宮 ⇨ 東北新幹線 東京 ⇨ 東海道新幹線 浜松 ⇨ 東海道本線 鷲津				

様式第9号(第7条関係)

令和7年10月20日

湖西市議会議員

氏名 福永桂子

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。



記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和7年10月9日(木)・10日(金)		
場所	ライトキューブ宇都宮		
内容	「第87回全国都市問題会議」にて 第1日目、人口減少・成熟社会のデザイン、人口減少社会に対応する都市の構造改革、縮充発想による公共施設マネジメント、都市縮小時代の持続可能なまちづくり、次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくりについて講演がなされた。 第2日目、成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～についてパネルディスカッションがなされた。		
目的 (市政との関連性)	湖西市においても人口減少・少子高齢化が進むなか、公共交通の維持、公共施設の最適化、地域拠点の形成は喫緊の課題である。本研修では、コンパクトシティと持続可能な都市経営の最新知見を得るとともに、地方都市が生活圏を再編し、市民が安心して暮らし続けられる都市構造を再設計する方法について学んだ。		
成果	都市としての成熟段階を前提とした政策の視座を、拡大志向から、“選択と集中”+“地域生活圏の安心確保”への政策転換の必要性が明確になった。		

報告詳細

第 87 回全国都市問題会議に参加し、

「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」を中心に、都市計画・地域政策・公共交通・都市経済・PPP/PFI・スマートシティの専門家が登壇して、人口減少下での都市経営、公共施設マネジメント、公共交通と生活圏形成について最新の知見を得られた。

1 日目

(1) 人口減少・超高齢社会を前提とした都市構造の再設計について講演が行われ、従来の「拡大・成長を前提とした都市開発」から、「成熟・維持・更新」へ視点を転換する必要性が強調された。

特に

- ・ 郊外に広がった低密度居住地の維持コストの増大
- ・ 空き家・空き地のスポンジ化の進行
- ・ 生活インフラ維持の財政負担増
- ・ 医療・福祉・商業機能の持続的提供の難しさ等の課題が指摘された。

これらは湖西市においても既に顕在化している現象であり、決して遠い将来の話ではないと感じた。

(2) 公共施設マネジメントについて

単に統廃合するのではなく、生活サービスの質を保ちながら賢く機能を集約する「縮充」という視点到強い説得力があった。

(3) 宇都宮 LRT の話題

公共交通とコンパクトの実践例を、現場での視察を通して勉強できたのは有意義であった。

2 日目

(1) パネルディスカッション

宇都宮市の LRT 事例を踏まえ、公共交通を軸にした生活圏づくりの議論が展開された。

印象的だったのは、「公共交通は投資であり、“人口減少期こそ地域の足を確保する視点”が重要」という意見である。

住民が移動を諦めることが、地域の衰退につながるとの指摘は、コーちゃんバスや天竜浜名湖鉄道を持つ湖西市にとって重要であり、「移動の権利を守ることが暮ら

しの継続性を守る」という視点はとても大切なことである。

(2) 住民合意形成の難しさについて

「コンパクト化は押し付けではなく、生活満足度を高める選択肢として理解してもらうことが大切」という点が繰り返し示され、これから湖西市においても、説明と対話を重視しながら段階的に理解を得ていく必要性を感じた。

感想

都市規模の大小にかかわらず、“暮らしの質と行政運営の持続性を両立させる都市づくり”が不可欠であることを再認識した。

湖西市においては、北部地域の生活拠点形成、公共交通の再評価、市立病院を中心とした生活圏の支援体制強化など、今回の学びを踏まえて具体的に検討していきたいと思う。会議全体からは、市民とともに将来像を共有し、共に選択していくプロセスの重要性を実感した。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 福永桂子

会 計 年 度	令和7年度	支 出 番 号	3		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費		
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		16,480 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和7年 10月26日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	16,480円	別紙「旅費内訳書」のと おり。指定席の代金は計 主せず。
支 出 目 的		「第19回地域医療政策セミナー」受講のための交通費として。			
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

駅-No 1244 領収書-No 30
窓口-No 102

領 収 書

福永桂子 様

金額 ￥16,480円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として 鷺津⇄東京 往復

上記金額確かに領収致しました

2025年10月26日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

写

駅-No 1244 領収書-No 30
窓口-No 102

領 収 書

福永桂子 様

金額 ￥16,480円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として 鷺津⇄東京 往復

上記金額確かに領収致しました

2025年10月26日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

旅費内訳書

出張先： 都市センターホテル

出張日： 令和7年10月27日

出張者： 福永 桂子

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ⇨ 東京	276.6	4,840	
			東京 ⇨ 鷺津	276.6	4,840	
			⇨			
			⇨			
	新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,400	自由席	
		東京 ⇨ 浜松	257.1	3,400	自由席	
			⇨			
			⇨			
				⇨		
				⇨		
小計					16,480	
代		⇨				
		⇨				
代		⇨				
		⇨				
小計					16,480 円	
日当	/		/		/	
宿泊料		泊		円		
		泊		円		
合計					16,480 円	
行程略図						
<往路> 鷺津 ⇨ 東海道本線 浜松 ⇨ 東海道新幹線 東京 ⇨ 東京メトロ 赤坂見附 講演会 都市センターホテル				<復路> 講演会 都市センターホテル 赤坂見附 ⇨ 東京メトロ 東京 ⇨ 東海道新幹線 浜松 ⇨ 東海道本線 鷺津		

供	議長	副議長	局長	次長	係長	係
覧						

様式第9号 (第7条関係)

令和7年10月30日

湖西市議会議員
氏名 福永桂子

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。



記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和7年10月27日(月)午後13時～16時40分		
場所	都市センターホテル		
内容	講演を拝聴する。 「地域医療をめぐる諸課題について」 厚生労働省 大臣官房審議官の榊原毅氏 「健康の社会的決定要因の視点から地域の健康を考える」 東京化学大学大学院歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野/ウェルビーイング創成センター教授の相田潤氏		
目的 (市政との関連性)	湖西市においても、高齢化の進行、医療人材確保、救急医療体制の持続性、健康格差の拡大など、地域医療を取り巻く課題が顕在化している。厚生労働省および研究者による講演を通じ、国の地域医療政策の方向性と最新の知見を学び、湖西市立病院を中心とした地域医療体制の強化、地域包括ケア、予防健康づくり施策を検討する。		
成果	医療を「治療の提供」だけでなく、地域の暮らしと健康を支える包括的な基盤として位置づける視点が深まった。 また、市立湖西病院の役割として、救急医療に加えて、慢性疾患管理・在宅医療連携・地域の健康づくりの拠点としての機能強化が必要と感じた。		

報告詳細

この2題の講演において、地域医療を巡る国の現状と政策について、新たな地域医療構想に関して説明を受けた。

医師偏在の是正・医療需要の変化、医師の働き方改革、医療DX推進、地域包括ケア深化など、医療提供体制の持続性を確保するための施策について、また、地域住民の健康づくりにおいて、医療だけでなく生活環境・社会環境・教育・経済状況等の多層的要因が影響することが示された。特に湖西市に有意義と考える検討課題について取り上げる。

(1) 医師総数の増加傾向と地域間・診療科間の偏在

地域間・診療科間の偏在が依然深刻であり、都市部への集中と地方の慢性的な医師不足が続く現状が示された。

その中で、地域枠制度や臨床研修制度の見直し、医師の勤務負担軽減による定着促進策が紹介された。

(2) 2024年から本格施行される医師の時間外労働規制

医療機関が提供できる医療量が制約される可能性が示され、業務の見直し、タスクシフト、DX活用、救急の適正化の必要性が語られた。

湖西市立病院においても、勤務環境整備と効率化、地域医療機関との役割分担の明確化が求められると感じた。

(3) 健康の社会的決定要因 (SDH) の観点

所得格差、雇用、教育、住宅、孤立、口腔環境などが健康格差に影響することが説明された。単に医療提供だけでなく、生活条件の改善を含めた包括的支援が重要との指摘があった。

- ・口腔健康と全身疾患の関連
- ・子どもの食環境と将来の健康格差
- ・高齢者の社会参加とフレイル予防等の具体例が挙げられた。

各自治体における地域診断とデータ分析の重要性が強調された。

湖西市でも、高齢化率の上昇、単身高齢者の増加、子どもの貧困リスク、また地域差のある移動手段や医療アクセスなど、健康格差につながり得る要因が認められ、医療・福祉・教育・地域づくりを横断する視点が必要であると感じた。

(4) 地域で実践できる方針

- ・医療の前に「環境」を整える環境設計
- ・「社会的処方」の有効性を共有
- ・口腔ケアと栄養指導の体制強化
- ・地域包括支援センターの機能発揮
- ・移動手段確保による受診機会の保障
- ・生活困窮・孤立対策の強化
- ・ソーシャルキャピタルの保健効果の視点
- ・医療DXとオンライン診療の活用
- ・多職種連携と地域医療の魅力向上など、多数示された。

湖西市においても精査し、検討・導入すべき内容であるとする。

所見

今回の研修を通じ、「医療機関を支える仕組み」から、「地域住民の健康と暮らしを支える仕組み」へ政策転換が進むことを実感した。特に、病院・介護施設・地域包括支援センター・学校・地域団体等が、「医療前の環境づくり」に取り組む仕組みが重要と感じた。

また、地域サロンや健康教室、口腔ケア支援、移動支援、子ども・家庭支援といった既存施策を「社会的処方」として体系化し、市民にわかりやすく提示することで、効果が高まる可能性を感じた。

今後、湖西市でも、市立病院の持続性確保と、地域全体で支える医療提供体制の構築に向け、議会として理解を深め、引き続き市民・医療機関・福祉部署・教育機関と課題を共有しながら協力し、現場に即した施策提案を継続していきたい。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 福永 桂子

会 計 年 度	令和7年度	支 出 番 号	4		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		30,000 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
		交通費		円	別紙「旅費内訳書」の おり
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
	令和8年 2月7日	参加 負担金	地方議員研究 会	30,000 円	●参加負担金 30,000 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支 出 目 的	「生成AIを活用した予算審議について」研修参加費として				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収証

2026 年 2 月 7 日

福永桂子

様

★

¥30,000

但 2026/2/7(土)10時～木村講師【東京】生成AIを活用した予算審議について～基本編～
2026/2/7(土)13時半～木村講師【東京】生成AIを活用した予算審議について～実践編～

研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835

様式第9号 (第7条関係)

令和8年 2月 13日

湖西市議会議員
氏名 福永桂子

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記



項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	2026年2月7日		
場 所	リファレンス西新宿大京ビル		
内 容	予算審議特別研修（講師：木村亮太氏）を受講。「生成AIを活用した予算審議についての基本編と実践編」として、AIの特性を理解した上でのプロンプト作成技術や、膨大な予算資料から効率的に論点を抽出する手法、他自治体との比較分析、市民向け解説資料の自動生成など、具体的な活用方法についての講義と演習を行った。		
目 的 (市政との関連性)	湖西市では「湖西市デジタルファースト宣言」に基づき、執行部において生成AIの全庁導入が進められ、業務効率化の成果を上げている。議会においても、膨大な資料に基づき短期間で判断が求められる予算審議の質を向上させる必要がある。研修を通じて、AIを活用した「予算書の多角的な分析」や「審議に必要な情報の迅速な収集」の手法を習得し、予算の妥当性をより細部まで検証することで、市民への説明責任を果たす質の高い予算審議を実現することを目的とする。		
成 果	1. 審議の細部化と効率化 2. 二元代表制の機能強化 3. 情報公開の質の向上		

報告詳細

1. 審議の精緻化と効率化 : AI を用いたデータ分析手法を学んだことで、限られた時間内で予算の「隠れた課題」や「経年変化の矛盾」を効率的に発見できる可能性がある。
2. 二元代表制の機能強化 : AI を使いこなす執行部に対し、議会側も同等のデジタルスキルを保持することで、対等かつ建設的な議論・提言が可能となる見通しを得た。
3. 情報公開の質の向上 : 複雑な予算内容を AI で要約し、市民に分かりやすく伝えることが可能になる。これは今後の広報広聴活動や SNS 発信において、透明性の高い議会運営に直結する成果であると考える。

所見

研修では、単に AI に答えを求めるのではなく、議員自身の知見を AI に掛け合わせることで、より有効的な質疑を生み出すプロセスを実践した。

湖西市においては、公共施設の老朽化、北部地区・白須賀地区の学校再編や生成 AI を活用した教育プログラム、人口減少を食い止め魅力あるまちづくりの実践、上下水道、医療、国民健康保険税の税率改定など、市民の関心が高く、かつ複雑な予算項目が控えている。今回の研修で得た知見を直近の予算審議に即座に活用し、根拠に基づいた論理的な質疑を行うことで、市民の負託に答えていけるよう努力する所存である。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 福永 桂子

会計年度	令和7年度		支出番号	5	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			29,940 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和8年3月24日	交通費	東海旅客鉄道株式会社	14,940円	別紙「旅費内訳書」のとおりに
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
2	令和8年3月25日	参加負担金	地方議員研究会	15,000円	●参加負担金 15,000円 ●振込手数料 円
		資料購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	「予算・決算を読み解く 「財政」に強い議員が最強」研修参加費・交通費として				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

駅-No 1244 領収書-No 31
窓口-No 102
領 収 書

福永桂子 様

金額 ￥14,940円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として 鷺津↔京都
往復

上記金額確かに領収致しました

2026年 3月24日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

写

駅-No 1244 領収書-No 31
窓口-No 102
領 収 書

福永桂子 様

金額 ￥14,940円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として 鷺津↔京都
往復

上記金額確かに領収致しました

2026年 3月24日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

領収証

2026 年 3 月 25 日

福永桂子

様

★

¥15,000

但 2026年3月25日(水)13時半～杉本先生【京都】予算・決算を読み解く-「財政」に強い議員が最強

研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835

旅費内訳書

出張先： 京都JAビル

出張日： 令和8年3月25日

出張者： 福永 桂子

区分		行程(路線名・駅名等)		キ口数	金額	備考		
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	⇨	京都	237	4,070	
			京都	⇨	鷺津	237	4,070	
			⇨					
			⇨					
	新幹線 特急等	豊橋	⇨	京都	220.0	3,400	自由席	
		京都	⇨	豊橋	220.0	3,400	自由席	
			⇨					
			⇨					
				⇨				
				⇨				
小計					14,940			
代		⇨						
		⇨						
代		⇨						
		⇨						
小計					14,940 円			
日当	/		/		/			
宿泊料		泊		円	0			
		泊		円				
合計					14,940 円			
行程略図								
<往路> 鷺津 ⇨ 東海道本線 豊橋 ⇨ 東海道新幹線 京都 研修 京都JAビル				<復路> 京都 ⇨ 東海道新幹線 豊橋 ⇨ 東海道本線 鷺津				

供	議長	副議長	議長	次長	係長	係
覧	[Redacted]					

様式第9号 (第7条関係)

令和8年 3月31日

湖西市議会議員

氏名 福永桂子

政務活動報告書



下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和8年3月25日		
場所	京都 JA ビル		
内容	講師；杉本康介 地方議員研究会事務局長 予算・決算を読み解く ・自治体財政の「ここだけ見ればOK」ポイント ・「ムダ削減」と「政策提案」をつなげる視点 ・財政質問のコツ		
目的 (市政との関連性)	研修では予算・決算書から財政の健全性や施策の優先順位を読み解く専門的知識を習得する。一方湖西市では「デジタルファースト宣言」のもと、行政運営の効率化が進んでいる。先般の研修で習得した生成AIの知見を、今回の財政とAIを掛け合わせることで、従来の審議では見落としがちだった細かい予算・決算の動きを見抜くこと、またエビデンスに基づく政策提言をスピード感をもってやる手法を研究する。		
成果	予算・決算書から自治体の財政健全性や施策の優先順位を的確に読み解くための専門的知見を習得した。これら知識に、生成AI技術を掛け合わせることで、膨大な予算編成の基本方針や事業別説明書から、従来の審議で見落とされがちであった微細な予算の動きや課題を迅速に抽出する体制を整えることができる		

報告詳細

1. 予算・決算分析の高度化と AI の活用

- ・研修にて、自治体財政の「見るべきポイント」として、予算・決算書から「ムダ削減」と「政策提案」を繋げる視点を学んだ。
- ・これに AI によるデータ解析を導入し、過去数年間の予算推移を多角的に分析することで、本市の予算編成の基本方針が個別の事業にどのように反映されているかを客観的に検証する手法がこれから必要となる。

2. 財政健全性の評価（実質単年度収支の重視）

- ・表面的な黒字・赤字（実質収支）に捉われず、財政調整基金への積立や取り崩し額、地方債の繰上償還額を含めた「実質単年度収支」を精査することの重要性を再確認した。
- ・これにより、本市の財政余力がどの程度維持されているかを把握し、将来的な施策の優先順位を客観的に評価する明確な判断基準を得ることができる。

3. 一般質問への活用と政策提言

- ・習得した財政知識を使用し、一般質問において予算の適正性だけでなく、施策の「成果」に基づいた建設的な議論を展開する構成が大切である。
- ・AI を活用して導き出した分析結果をエビデンスとして提示し効率化する。そして、具体的な提案を一般質問にて実施することを研究する。

所感：

「財政の専門知識と生成 AI の解折力」を上手く使用し、説得力のある政策提言をスピーディーに行うための新しい議員活動スタイルの一つでしょう。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。